



環境

野々口真由美 議員 (TSUNAGU)

さらなる路上喫煙防止対策を

答弁…喫煙所の設置を積極的に検討していく

問 禁止エリア内での喫煙の状況はいかがか。特に、新白岡駅は喫煙所がなく、条例施行後もポイ捨ては変わらない。もちろん、マナー違反は喫煙者のモラルに関わる問題であるが、規制をかけるのであれば、ルールを守れるように、喫煙所を設置するべきではないか。

答 条例施行後に職員によるパトロールを実施したところ、吸い殻のポイ捨てを確認したため、一部喫煙はあるものと考えられる。

喫煙所の整備については、国の特別交付税措置や埼玉県補助制度を活用し、新白岡駅西口への設置に向け、積極的に検討していく。



保育 より安心できる保育環境の実現に向けて

答弁…保育士支援施策の充実に努めていく

問 保育士不足が心配される中、こども誰でも通園制度の導入や個別対応が増すことで、保育現場の負担は、今後いっそう重くなると考える。安心できる保育現場には、保育士の充実は欠かせない。そこで、保育士定着支援策として補助制度の導入はできないか伺う。

答 保育士定着施策の一環として、埼玉県社会福祉協議会の実施する、保育士就職準備資金貸付事業の活用等、情報提供に努めている。

保育士定着支援策としての補助制度については、管内保育施設から導入を希望する声もあり、実施に向けて検討していく。



環境

細井藤夫 議員 (WAKABA)

市内の水辺環境でのPFAS※¹の調査を

答弁…必要に応じて水質検査等を検討する

問 農業において水は重要である。本市は多数の河川から農業用水を得ている。農業用水の貯水池としての役割を持つ柴山沼では、ウォーターアクティビティの利用推進なども行われている。水辺環境でのPFASの調査を行って、状況を確認してはどうか。

答 当市の農業用水路の下流河川での水質検査において、PFOS※²及びPFOA※³は国が定める暫定指針値を大きく下回っており、問題がないと考える。今後も数値を注視し、急激な変化があった場合は、近隣市町と情報交換を行い、必要に応じて水質検査等を検討する。



交通 にたんごせ 二反五畝踏切と周辺道路の安全対策を

答弁…踏切周辺道路の安全対策を実施していく

問 国土交通省が公表した「緊急に対策の検討が必要な踏切」に指定されている二反五畝踏切は、南小学校及び南中学校の通学路となっている。現状では、車、歩行者双方とも危険であることから、特に、朝の通学時間帯の安全性向上について、市の考えを伺う。

答 児童生徒の安全性向上のため、当該踏切の周辺道路におけるグリーンベルトの再塗装や「歩行者に注意」などの看板設置を行い、通行車両に対し歩行者へ配慮した思いやり運転の実施を促していく。

※¹ PFAS…有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物の総称。

※² PFOS…PFASの一種であるペルフルオロオクタンスルホン酸。

※³ PFOA…PFASの一種であるペルフルオロオクタン酸。